

令和7年度 自己評価

幼保連携型認定こども園 やながせ保育園

1.保育理念・保育観		評価	
1	保育教諭一人一人が、園の保育理念、教育・保育方針を理解している。	A	年度初めの職員研修では読み合わせを行い、各保育室に「教育・保育目標」を掲示して日々確認出来る様にしている。また、前年度に引き続き事業目標として『『いいね』と『博士ちゃん』を見つける環境づくり』も掲げ、園児も保護者も職員も互いに認め合い、自己肯定感をもって過ごせる環境づくりに努めている。
2	教育・保育方針を理解して、計画が立てられている。	A	
3	常に教育・保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている。	A	
4	一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	B	
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	A	

2.保育計画・指導計画		評価	
1	教育・保育方針のねらい及び内容が達成できるような全体的な計画を立てている。	A	令和7年度は全体的な計画を見直し、各学年においてもねらいや内容を職員間で共有した。定期的に行う評価の中で、園児の姿や興味に合わせた計画へと柔軟に変更することが出来た。配慮の必要な園児については、保護者や関係機関と連携し、個に応じた保育計画を作成、実施している。
2	全体的な計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間指導計画、月案、週案を立てている。	A	
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている。	A	
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。	A	

3.食育		評価	
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A	定期的な給食会議だけでなく、日常的に栄養士、調理員、保育教諭が給食や食育活動について意見を出し合い、内容に反映できている。乳児や支援が必要な園児には保護者と連携して個別に対応した。前年度に比べ、手作りおやつ回数も増加している。
2	栄養士・保育教諭が連携し、会議等で意見を交わしながら、より良い給食になるように努めている。	A	
3	出来るだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。	A	
4	給食やおやつは手作りをしている。	B	

4.職員構成・役割分担・研修		評価	
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。	A	育休中の職員が複数名いたが、常勤、非常勤を問わずチームで連携し、役割を分担しながら活動を進めることが出来た。委員会が主体となって園内研修を企画し、グループ討議で活発に意見交換を行った。また、設備や遊具の点検表を見直し、日々の安全点検の徹底に努めている。
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。	B	
3	職員が各委員会に所属し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	A	
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している。	A	
5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている。	A	

5.保護者支援		評価	
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている。	A	園児の送迎を玄関から各保育室へ変更したことや参加型公開保育の実施により、普段の様子を保護者に見ていただく機会が増加した。各保育室でのドキュメンテーション発信に力を入れた一方、ネットでの配信の頻度は前年度より減少したため、今後の発信の在り方を検討していく。
2	園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。	B	
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気を付けている。	A	
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	A	

6.子育て支援		評価	
1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。	A	拠点事業を中心に、多様な活動を実施し、Instagram等で積極的に情報を発信している。参加者のニーズに合わせてグループ・場所・内容等を細かく設定することで、親子が安心して過ごせる環境作りに努めた。
2	地域の子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	A	
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	A	
4	園生活の子ども様子を地域にも発信している。	B	

7.小学校や地域社会との連携		評価	
1	定期的に小学校との交流を行っている。	C	小学校に声を掛け、11月に一度会議を実施したものの、定期的な交流には至っていない。近隣園児との交流は、地域の行事の前に実施出来た。また、老人ホームとの交流をとおして、高齢者の方を敬うの気持ちを育てている。今後は小学校との連携体制の構築が課題である。
2	定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている。	B	
3	高齢者との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。	A	

A:すべての点で目標、課題が達成できている。
C:取り組まれているが、成果が不十分である。

B:目標、課題が達成されている。
D:取り組みが不十分である。